

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム みどりのき

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 11 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化や職員の勤務体制、就業人数の関係で日常的な外出は難しいため、グループや個別で、利用者の外出に組み込み、利用者の生きがいに取り組んでいく。	天気の良い日を利用して、日常的な散歩や買い物に組み込み、ボランティアや家族の協力を得て、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	介護経験の浅い職員が多いため、認知症介護についての研修を受講して貰い、知識だけではなく、意識の高揚に取り組む、人間性も磨きながら介護技術の向上を目指していく。	職員の経験や習熟度に合わせて、外部の研修会に参加し、外の世界を体験し、職員一人ひとりのやる気に繋げ、職員全員が同じ内容の介護サービスの提供が出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加者が固定化し、会議の内容も画一化し、議題も毎回同じ内容になっているので、会議の議題や運営方法を職員間で検討していく。	参加委員を複数の民生委員、薬剤師、他グループホームの管理者、地域で活躍している有識者や知見者に参加を要請し、ホーム運営に反映出来るように工夫していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。